

## 教育課程の編成

### 重点事項

#### 1 豊かな心を育てる教育課程の充実

- (1) 望ましい人間関係を育てる教育計画  
 尊厳と信頼で結ばれた集団の育成を通して社会性を育み、思いやりの心を育てる教育計画を作成する。
- (2) 感性を育む教育活動  
 ふるさと教育の推進により、真・善・美に対する感性を培うとともに、多様な人々と積極的に交流しながら共生できる開かれた心を養う教育活動を展開する。

#### 2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実

- (1) 育てたい力を明確にした教育計画  
 発達の段階や特性等に応じ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成や主体的に学習に取り組む態度を養う教育計画を作成するとともに、学習の基盤をつくる活動の充実を図る。
- (2) 生きがいや創造性を育む教育活動  
 自己の生き方への関心を高め、生涯を通じて学び続ける意欲と態度を育てる。  
 また、個性豊かな創造力の育成に向け、

一人一人のよさや可能性を伸ばす、特色ある教育活動を展開する。

#### 3 変化に対応する力を育む教育課程の充実

- (1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画  
 多様な他者と協働しながら問題を解決していく学習活動を充実させるなど、主体的な学習の仕方が身に付く教育計画を作成する。
- (2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動  
 各教科等の特質に応じ、地域人材や素材、学校図書館、ICT等を効果的に活用するなどして、問題発見・解決能力等の育成を図る。

#### 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、適切な教育課程の編成と実施及び校種間の連携や交流に努める。  
 また、学校評価等を実施し、教育課程の工夫改善に努めるなど、組織的かつ計画的に学校等の教育活動の質の向上を図る。

### 幼稚園・保育所・認定こども園

#### 1 豊かな心を育む教育課程や全体的な計画の充実

- (1) 人と関わる力を養う教育・保育の計画  
 信頼関係を基に、自分の力で行うことの充実感や身近な人と一緒に活動する楽しさを味わうことを通して、人と関わる力を育む教育・保育の計画を作成する。
- (2) 感性を育む教育・保育  
 身近な環境と十分に関わる直接的・具体的な体験の充実を図り、豊かな心情や感性を育む教育・保育を展開する。

#### 2 一人一人の育ちを支える教育課程や全体的な計画の充実

- (1) 乳幼児期における発達の特性を踏まえた教育・保育の計画  
 乳幼児期の発達の特性を踏まえるとともに、入園から修了までの発達の見通しをもった教育・保育の計画を作成する。
- (2) 乳幼児理解に基づいた教育・保育  
 一人一人のよさや可能性を把握するなど乳幼児理解を深め、発達に必要な経験が得られる教育・保育を展開する。

#### 3 小学校以降の生活や学習の基礎を培う教育課程や全体的な計画の推進

乳幼児が環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりしようとする乳幼児期ならではの学びを一体的に育む教育・保育を編成する。

#### 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程及び全体的な計画の充実

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、各園の実態に応じて教育・保育の改善内容を具現化するとともに、創意工夫を生かし特色ある教育課程の編成や全体的な計画の作成をし、実施する。

また、学校（園）評価等を実施し、職員間の共通理解を図るとともに、園目標を家庭や地域と共有しながら、教育課程や全体的な計画の工夫改善に努めるなど、家庭や地域との連携及び協働の下、組織的かつ計画的に教育・保育の質的向上を図る。

## 小 学 校

### 1 豊かな心を育てる教育課程の充実

#### (1) 心の通う人間関係を育てる教育計画

基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、信頼と思いやりを基盤とする人間関係を育む教育計画を作成する。

#### (2) 感性を育む教育活動

地域の自然体験やボランティア活動等の社会体験、表現・鑑賞活動の充実を図るとともに、感動する心、他を尊重する心などを育む教育活動を展開する。

### 2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実

#### (1) 育てたい力を育む教育計画

知識及び技能の確実な習得と課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う指導の充実や個に応じた指導を推進するよう配慮する。

#### (2) 主体性や創造性を育む教育活動

夢や希望を語り合う機会を設けるとともに、学び続けるための基礎を培う。また、個々のよさを伸ばし、社会の中で主体的、創造的に生きる力を育む。

### 3 変化に対応する力を育む教育課程の充実

#### (1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画

一人一人の思いを生かした学習の場や問いを他者と協働的に解決する学習の場を設定するなど、主体的に学ぶ態度の涵養を意識した教育計画を工夫する。

#### (2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動

言語活動や実践的・体験的活動、問題解決的な学習等の充実を図る。その際、教材・指導形態・授業時数の運用や学習環境の整備など、児童や学校の実態を踏まえた工夫に努める。

### 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てるなど、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成し実施する。また、家庭や地域の人々と目指す児童像を共有するなどして家庭や地域との連携及び協働を深め、組織的かつ計画的に教育活動の質的向上を図る。

## 中 学 校

### 1 豊かな心を育てる教育課程の充実

#### (1) 共感的な人間関係を育てる教育計画

互いの立場や考えを尊重し、学び合い、高め合い、磨き合いながら、共感的な人間関係を深める教育計画を作成する。

#### (2) 感性を育む教育活動

地域の特性を生かした体験活動や、表現・鑑賞活動の充実を図るとともに、豊かな感性を育む教育活動を展開する。

### 2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実

#### (1) 育てたい力を育む教育計画

知識及び技能の確実な習得と課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う指導の充実や個に応じた指導を推進するよう配慮する。

#### (2) 生きがいや創造性を育む教育活動

学び続ける意欲を育てるとともに、夢や目標を自己の進路選択に生かす教育活動を重視する。また、個々のよさを伸ばし、社会の中で主体的、創造的に生きる力を育む。

### 3 変化に対応する力を育む教育課程の充実

#### (1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画

一人一人が学ぶ目的を明確にもち、自分のよさを発揮しながら他者と協働的に問題を解決していく学習を位置付けるなど、生涯にわたって主体的に学ぶ態度の涵養を意識した教育計画を工夫する。

#### (2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動

言語活動や実践的・体験的活動、問題解決的な学習等の充実を図る。その際、教材・指導形態・授業時数の運用や学習環境の整備など、生徒や学校の実態を踏まえた工夫に努める。

### 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てるなど、特色ある教育課程を編成し実施する。また、家庭や地域の人々と目指す生徒像を共有するなどして家庭や地域との連携及び協働を深め、組織的かつ計画的に教育活動の質的向上を図る。

## 高等学校（全日制）

- 1 学校の特色や創意工夫を生かした教育課程の編成
  - (1) 特色ある教育課程の編成
 

学校や地域の実態、学科の特性等を考慮し、学校の特色を生かした魅力ある教育課程を編成する。
  - (2) 社会の変化に対応した教育活動
 

科学技術の進展やグローバル化、少子高齢化等の社会の変化に対応できる資質・能力を育成する教育活動を展開する。
- 2 確かな学力の育成を図る教育課程の充実
  - (1) 学習の基盤となる資質・能力を育む指導計画の作成
 

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに生徒がそれらを活用し、課題を自ら発見・解決する活動を適切に位置付けた指導計画を作成する。
  - (2) 多様な能力・適性を伸ばす教育活動
 

生徒の興味・関心や進路希望などに応じて、幅広い科目選択ができる教育課程の編成に努め、それぞれの生徒がもつ能力・適性を伸ばす教育活動を展開する。
- 3 主体的に学ぶ力を育てる教育課程の推進
  - (1) 学ぶ意欲を高める指導計画の作成
 

教科等横断的な学習を推進し、主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等を養うための指導計画を作成する。
  - (2) 自己実現を図る教育活動
 

一人一人の進路意識を高め、主体的に自己実現を図る資質・能力を育成するための教育活動を展開する。
- 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実
  - (1) カリキュラム・マネジメントの推進
 

社会や世界の状況を視野に入れながら、学校教育目標の実現に向けて必要な教育活動を教育課程において明確化する。
  - (2) 地域との連携の充実
 

教育課程の実施に当たり地域の人的・物的資源を活用し、学校教育目標を地域社会と共有しながら教育活動の質的向上を図る。

## 高等学校（定時制・通信制）

- 1 特色ある定時制・通信制教育の推進
  - (1) 特色ある教育課程の編成
 

生徒の主体性を引き出す多様な教科・科目を設定し、一人一人を生かす特色ある教育課程を編成する。
  - (2) 教育内容の改善と充実
 

生徒の適性や進路希望等に対応できる教育内容を取り入れるとともに、学習機会の確保及び生涯学習の観点から、学校外における学修等への取組を推進する。
  - (3) 通信制の課程における指導計画の作成
 

添削指導及び面接指導において、学習効果が上がり、生徒との触れ合いが保たれるよう配慮した指導計画を作成する。
- 2 単位制、多部制による課程の充実
 

生徒の多様な実態を踏まえ、弾力的な教育課程の編成を行い、積極的に高等学校教育を受ける機会を提供する。
- 3 学習意欲を高める指導方法の工夫
 

ガイダンスの機能を充実させ、生徒の自己実現を支援するとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るための指導方法の工夫改善に努める。

定時制の課程においては、多様な学習機会を確保するとともに、個に応じた指導の工夫を図る。通信制の課程においては、生徒の学習意欲を喚起するためのICTの活用や、スクーリングの指導方法の工夫を図る。
- 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実
 

「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき、定時制の課程及び通信制の課程における目指すべき教育の在り方を、家庭や地域と共有し、連携及び協働の下に教育活動の充実を図る。

## 義務教育学校、小中一貫型小・中学校

### 1 特色ある教育課程の編成

各校においては、異なる学年のつながりを重視するとともに、小・中学校の円滑な接続を目指し、教諭等の兼任・兼務発令により、学校教育目標を小・中学校の全ての教職員が共有した上で、9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成している。本県では、市町村教育委員会が主体となり、各地域の特色を生かした小中一貫教育の多様な取組が展開されている。

### 2 小中一貫教育の充実

各校においては、9年間の教育課程を系統的に捉え、地域や学校の特色を生かした取組を推進している。小・中学校の教員が協働して行う指導方法の工夫改善や相互乗り入れ指導、小学校高学年における教科担任制の導入、小・中学校合同行事の実施による児童生徒の交流等により児童生徒の発達の段階に応じた質の高い教育活動が展開されている。

## 中高一貫教育校

### 1 特色ある教育課程の編成

本県では、入学者選抜を課すことなく中学校と高等学校を接続し、6年間の教育課程を計画的かつ継続的に編成する県立の中高一貫教育校を県内三地区に設置し、選択教科や指導内容の移行等の特例を生かした特色ある教育活動を展開している。

### 2 中高一貫教育の充実

各校においては、中高の学びを一体的に捉えた計画的かつ継続的な教育活動の展開や、特色ある教科・科目の開設等により、一人一人の個性や創造性の伸長が図られている。

また、系統的な教育活動における様々な課題やキャリア教育の充実に向けた指導の在り方等についての検証を行い、中高一貫教育の特性を十分に生かした、特色ある学校づくりを推進している。

## 特別支援学校

### 1 豊かな心と健康で安全な生活を送る力を育む教育課程の充実

他者への信頼と共感的な人間関係を基盤とし、思いやりの心を育む教育計画を作成し、学級経営の充実を図る。

また、食習慣や生活リズムを整え、望ましい生活習慣の形成を図るとともに、安全に留意し、運動を通じて体力を養うなど、健やかに生活する力を育む。

### 2 一人一人のよさや可能性を伸ばす教育課程の充実

#### (1) 一人一人の幼児児童生徒に応じた教育計画

個別の教育支援計画を活用し、家庭や関係機関との連携による一貫した支援や合理的配慮の提供を行う。また、的確な実態把握を基に個別の指導計画を作成・活用し、自立活動の指導の充実を図る。

#### (2) 育てたい資質・能力を明確にした教育活動

生活に生きる基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るとともに、それらを活用して主体的に課題解決するた

めに必要な思考力、判断力、表現力等を育む。さらに、ICT等を活用した学習活動の充実により、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力等の育成を図る。

### 3 自立と社会参加を目指す教育課程の充実

#### (1) 一貫性のある教育計画

キャリア教育の視点を踏まえ、系統性のある指導内容・指導方法及び指導体制を工夫改善して教育計画を作成する。

#### (2) 地域や関係機関等と連携した教育活動

地域の特色を踏まえ、地域の資源を活用した教育活動を計画的に実施し、社会的・職業的自立に必要な力を育む。

### 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

幼児児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、学校教育目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立て、特色ある教育課程を編成する。また、個別の指導計画の実施状況の評価・改善を教育課程の評価・改善につなげ、教育活動の質的向上を図る。

## へき地校・小規模校教育

### 1 へき地校・小規模校の特性を生かした教育の実践

#### (1) ふるさとに対する愛着と誇りをもたせる教育

様々な学習活動において、ふるさとそのものを教育資源として活用し、直接体験を大切にしながら展開を工夫することで、学習意欲の向上を図る。

また、地域の自然や文化、人々との触れ合いで得た感動を通して、ふるさとに学び、愛着と誇りをもつ児童生徒の育成に努める。

#### (2) 地域の特性を生かした教育

地域の実態を的確に把握し、その特性を積極的に取り入れた教育活動の展開に努める。

また、人的・物的資源等、地域のもつ教育力を適切かつ効果的に活用するなどして、地域との密接な連携による教育活動の実践に努める。

#### (3) 郷土や国際社会でたくましく生き抜く力を育む教育

郷土が抱える課題や郷土の未来について考え、話し合う活動等を通して、郷土や国際社会で自立的、協働的、創造的に生き抜く児童生徒の育成に努める。

### 2 児童生徒の自己実現を支援する教育の充実

#### (1) 一人一人の子どもに寄り添った指導・支援

個性を発見し、よさや可能性の伸長を図るために、児童生徒一人一人を共感的に理解するとともに、個に応じたきめ細かな指導・支援に努める。

#### (2) 支え合う生き方を自覚する人間関係づくりの支援

少人数のよさを生かし、児童生徒相互の望ましい人間関係や、児童生徒と教師との揺るぎない信頼関係を築き、教育活動の充実に努める。

また、ICTを効果的に活用するなどして他校との交流活動や合同学習を積極的に行い、多様な意見や考えに触れたり社会性を養ったりする機会の設定に努める。

#### (3) 夢や希望の実現に向けた支援

児童生徒の思いや願いを大切にしながら集団活動等を通して、互いのよさを認め合うとともに、自信をもち、現在及び将来における自己実現を図ろうとする意欲を高める。

### 3 少人数・複式学級における指導方法の改善と充実

#### (1) 基礎学力の定着を図る学習指導

少人数学級のよさを生かし、児童生徒一人一人の特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う。また、支援が必要な児童生徒に、より重点的な指導を行うため、全校体制でチーム・ティーチングを推進するなど手立ての工夫に努める。

#### (2) 児童生徒一人一人のよさを生かす学習指導

個々の興味・関心やキャリア形成の方向性等に応じた異なる目標に向けて学習を深め、広げる活動を取り入れるなど、授業の展開を工夫する。

#### (3) 複式学級の特性を生かす学習指導

次年度以降の学級編成や学校の統合等を視野に入れた長期的な見通しをもち、児童生徒の実態や各教科等の特質を踏まえ、教材の精選や指導内容の重点化を図るなど指導計画の改善・充実に努める。

また、教師が一方の学年に指導している間に、他方の学年の児童生徒が見通しをもって学習を進められるよう、デジタルコンテンツ等のICTの活用や、学習過程の工夫改善に努める。

### 4 地域と学校の特色を生かす研修の充実

へき地校・小規模校が抱える教育課題の解決のため、家庭や地域、へき地校・小規模校同士の連携を深めながら研修の充実に努める。

また、先進校に学んだり、各校の研究成果を共有したりするなど、より効果的な研修の実施に努める。

# 学 習 指 導

## 重 点 事 項

### 1 基礎学力の向上を図る学習指導の充実

#### (1) 自ら学び自ら考える力を育てる指導

自ら学び続ける力や思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、児童生徒の疑問等を生かした主体的な学習活動、体験や感動を重視した指導を展開する。

#### (2) 受容と共感に支えられた魅力ある指導

教師と児童生徒、児童生徒同士の共感的で温かな人間関係を基盤とし、児童生徒の充実感・成就感を生み出す指導を展開する。

### 2 指導計画及び指導方法等の改善と充実

#### (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る指導

指導のねらいを明確にし、体験的な理解や繰り返し学習を重視するとともに、各教科等の系統性を踏まえた指導を推進したり、知識及び技能の活用を図る学習活動を取り入れたりする。

#### (2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導

児童生徒の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、一人一人の特性や学習進度等に応じた指導方法や教材等の工夫を行うとともに、興味・関心に応じた学習

活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒が自己調整しながら学習を進めることができるよう促す。

また、多様な他者と協働して課題解決に取り組む活動を取り入れるなど、一人一人のよさや可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせたり、よりよい学びにつながるよう指導を工夫する。

#### (3) 各教科等の関連を図る指導計画の作成

各教科等及び学年間・校種間の指導内容の関連性を重視するとともに、本指針において示されている教育課題の視点を加えた指導計画の作成とその指導計画に基づいた評価・改善等に努める。

### 3 学習環境の整備と充実

#### (1) 言語環境の整備

児童生徒が、言語の役割や機能などについて関心をもち、正しく美しい国語を用いるよう、教師自身が言語に対する意識を一層高めて指導に当たる。

#### (2) 豊かな学びにつながる学習環境の整備

家庭や地域、他校種等との連携を図ったり、学校図書館、ICT等を活用したりするなど、豊かな学びにつながる学習環境の整備と充実に努める。

## 学 習 評 価

### 1 学習指導の改善と充実に生かす評価

#### (1) 目標に準拠した評価の推進

目標に準拠した観点別学習状況の評価を基本とし、児童生徒が自分のよさや可能性に気づき、自らを伸ばしていくことができるよう、評価を適切に実施する。

#### (2) 指導と評価の一体化

指導のねらいに応じて、授業での児童生徒の学びの姿を想定した具体的な評価規準を設定するとともに、評価の場面や方法を工夫して学習の過程や成果を評価し、児童生徒の学習の改善と教師の指導の改善につなげる。

### 2 一人一人の児童生徒を伸ばす評価

#### (1) 自己評価、相互評価の活用

自己評価や相互評価を行う場を設定することにより、児童生徒が自らの学習過程を振り返って自己の変容を客観的に自覚し、学習意欲の向上につなげることができるよう促すとともに、評価能力を高

めることができるよう配慮する。

#### (2) 個人内評価の活用

個人内評価の対象となるものを児童生徒に伝えるときに、感性や思いやりなど一人一人のよい点や可能性、進歩の状況等を積極的に評価し、児童生徒や保護者にその状況を適切に伝える。

### 3 妥当性と信頼性のある評価

#### (1) 評価の実施体制の整備

評価の実施体制を整備し、組織的かつ計画的に取り組むとともに、学校間の接続においても学習評価が適切に引き継がれるよう留意する。

#### (2) 評価の日常的な見直しと改善

学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価方法等について日常的に改善を図る体制を構築する。

「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料  
(国立教育政策研究所)

